

# 「大豆を育てて味噌と豆腐を作るっ！」が終了しました

ふるさと館では平成19年度から3年間、「大豆を育てて味噌と豆腐を作ろう！」を開催してきました。

この講座は、食物を種から育てて食の大切さを学び、親子で作業をして会話、交流を図りながら手作りの楽しさを体験してもらうことを目的とした1年を通して

の講座です。3年間で22組の親子が参加し、大豆の種まきから始めて、豆腐・味噌・納豆を作る作業を行いました。



## 「親子食文化講座」に参加して 五感で伝える食文化

田代 貴恵

上の方は乾いているのに少し掘ると湿っていて冷たい。その土の上に「ロン」と大豆一粒。「自分の足で間隔を測ってね。」  
「一歩一歩、」  
「あ、時の大豆が、枝豆になり、そしてたくさんのカラカラ大豆になった。」  
「このお豆腐、いつもの味が全然違う！」  
それはそうだ。自分で植えて育てた大豆だもの。自分でグツグツ煮て、絞って固めたお豆腐だもの。

「濃いね。」「うん、濃い。」  
温かくて冷たい土の触感。引っこ抜いてよく観察した根っこ。（丸い栄養の玉を発見！）お豆を煮た時のまるやかな匂い。ポタポタと落ちる熱々の豆乳の音。何とも言いえない味。目に耳に鼻に舌に肌に焼き付いた。文化ってこうして体に染み込むのかな。そして伝えたい人に五感の引き出しを開けて見せるのかな。

「食べる」ことは「生きる」と。伝えられた食文化は、結構なパワーで私達を支えてくれるように思う。だから、懐かしい味を時に口にしたいかなるのだから。  
「何が楽しかった？」  
子供に聞いてみた。  
「焼き芋と味噌ぎゅうりーあとお餅！」  
そう、内緒のおまけ付きだったこの親子食文化講座。一粒から百倍以上にもなる大豆と同じくらいエネルギーに満ちた白井先生、坪根先生、ふるさと館の皆様、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。



6月 種まき～みんなで畑に種をまきに行きます



9月 枝豆を収穫して、ずんだもちを作りました



11月 大豆をはたいて、殻から豆をだします



2月 味噌づくり～半年ねかせて完成です



12月 収穫した大豆で豆腐作り

この講座を通して、食物を口にするまでには大変な手間がかかりますが、その分だけ本物の味として作り手に戻ってくるということや、食べ物大切さを学ぶことができました。  
参加してくださった皆さんありがとうございました。

### マイ★オピニオン 意見・私見

## 『伝統行事、御柱祭』

中世ロマンの里づくり実行委員会総代長 上村 力  
実行委員長 宮本 勉

今年の長野県は下諏訪神社を中心に御柱一色でありますが、太田五東のお宮（健御名方富命彦神別神社）でも寛政12年から数えて210年、第36回目となる御柱祭の実行委員会を昨年3月に立ち上げて取り組んで参りました。

既に多くのメディアで取り上げていただきましたのでご存知の方もおられるでしょうが、飯山市無形民俗文化財指定の御柱初行事「木本祭（山から木を切り出す儀式）」を3月7日に行いました。地区内外約200人の観衆や飯山

市内の木遣連等に見守られながら斧係、手斧係、鋸係によって切り出された御柱を無事、安置場まで曳行することができました。

来月5月2日（日）の午後には、いよいよ里曳きを行います。一ノ御柱は柳沢地区の集会所から、二ノ御柱は堀ノ内地区の集会所から、それぞれ1キロ程の道のりを約300人がかりで五東の神社を目指します。夕方より、神社広場において伝統芸能を中心とした前夜祭を催します。

翌3日（祝）は本柱祭を古式にのっとり肅々と執り行います。猿田彦命のしめ切りや天細女命の舞が披露された後に、柱曳上げ、御柱建式へと進みます。

北信地方では数少ない御柱ですので、地域の皆様方はもちろん、遠方にお暮らしの地域出身の皆様にも声をかけ、多くのご協力を頂きながら、盛大に行う予定です。

7年に一度の御柱祭に参加くださいますよう、お待ちしております。



人権擁護委員を拝命して二年を迎えています。無知な私であり、教えられる事のみであり、恐縮しています。人権の世紀と言われ世界人権宣言で、日本国では憲法で人権が高らかにうたわれ、保障されています。又、様々な分野で多くの人々によって、基本的人権が守られるように活動が行われています。人権擁護委員もその中に加わらせていただいております。しかしその努力にもかかわらず、差別・いじめ、虐待等、あとを絶ちません。しかもこのことは乳幼児から老人まで全年層に及んでいます。

冬、信濃毎日新聞の特集、笑顔のままを讀み乍ら人生五十年時代から、百才時代を迎えた現在、介護の問題について考えて見たいと思います。

### 箱 学習シリーズ 「思うこと」

人権擁護委員 小林和子

人はいづれ誰でも終焉を迎える訳ですが、どういう所で、どんな型で迎える事が出来るかどうお送り申し上げる事がその人の尊厳に謝する事なのか。

昨夏、ある老人ホームへお伺いする機会がありました。

稀であり、核家族化の中で老々介護や勤めを持ち乍らの在宅介護の中で、虐待等報告されておりますが、する者とされる者の区分ではなく、家族全体の苦痛だと思えます。

もう少し富の分配が広くされ、社会全体を潤すことができたならなあーと思えます。